

現代作家と語る 明治の絵画

令和
明治



明治13（1880）年、日本で初めての公立絵画学校である京都府画学校が開校しました。今年は画学校開校140周年になります。それを記念して、学校歴史博物館では、「京都府画学校への道」と題し、画学校の開校を目指した画家たちの奮闘やその背景となった明治時代の京都画壇を振り返る企画展を開催しています。

本トークイベントは、企画展に関連し、令和の時代の現代作家である画家グループ「景聴園（けいちょうえん）」を招き、学校歴史博物館の学芸員を聞き手に、画家から見た明治時代の京都画壇について考えるトークイベントです。「景聴園」は、京都府画学校の後身にあたる京都市立芸術大学で学んだメンバーによって結成された画家グループです。景聴園は、幸野椋嶺など京都府画学校開校に尽力した当時の画家たちと、年齢が30代前半を中心とした若手であるという点が共通しています。今回のイベントでは、景聴園のみなさんと一緒に、140年前の若手画家の挑戦を振り返り、現代の自分たちの作品制作についてもお話しいたできます。

今あらためて、京都画壇の歴史を絵画制作の視点で振り返ることで、現代と未来の京都美術の可能性についても検討してみたいと思います。

〈トークイベント開催情報〉

出演者：景聴園(京都市立芸術大学で学んだ画家グループ)

聞き手：森光彦(京都市学校歴史博物館)

日時：令和2年3月8日(日)14時から16時

場所：京都市学校歴史博物館

(京都市下京区御幸町通仏光寺下ル橘町 437)

定員：50名(事前申し込み先着順)

対象：中学生以上

参加費：無料(別途入館料が必要)

*手話通訳あり(2/27(木)までに要予約)

〈お申し込み方法〉

- ①イベント名と開催日
- ②氏名
- ③ふりがな
- ④連絡先電話番号
- ⑤参加人数(本人含む)

を明記の上、下記の方法でお申し込みください。
定員になり次第、申し込み終了となります。

電話：075-344-1305 (9時から17時、水曜休館)

FAX：075-344-1327 (FAX番号も必ず明記ください)

メール：rekihaku-jigyuu@edu.city.kyoto.jp

FAX、メールでのお申し込みの方にのみ、確認後当館より返信いたします。

現代作家と語る明治の絵画

京都府画学校の後身である京都市立芸術大学で学んだ画家グループ「景聴園」のメンバーと当館学芸員が明治時代の日本画や現在の作品制作について語り合うトークイベントです。

景聴園 / KEICHOEN <http://www.keichoen.info>

京都市立芸術大学に学んだ画家グループ。2012年の結成以来、日本画を通して絵画のあり方を見つめ日夜研究と議論を重ねながら、絵画制作を軸に展覧会やワークショップ等の活動を続けている。2019年、原三溪没後80周年記念 三溪園×横浜美術大学「三溪園と日本画の作家たち」展、京の夏の旅 京のたしなみ「画室で描こう～日本画家 木島櫻谷の旧邸で楽しむ日本画ワークショップ～」開催。

〈メンバー紹介〉

上坂 秀明 / KOSAKA HIDEAKI

作家。1988年、大阪生まれ。2011年、Sydney College of Art 交換留学。2012年、京都市立芸術大学修士課程美術研究科絵画専攻日本画修了。自然科学の実験場として日本画を選び、古画研究と、自然現象を問う自らの感覚の鍛錬から「生きた線」を追究している。2019年、上坂秀明個展 SWITCH (Art Space-MEISEI) 開催。

三橋 卓 / MITSUHASHI TAKU

作家。1987年、京都生まれ。2013年、同絵画専攻日本画修了。同大学講師。創画会准会員。身の回りの事象にフォーカスし、自身とモチーフとを結ぶ距離が地層のように絵肌を構成していく作品を作る。2019年、三橋卓個展「向こう側とその間」(ギャラリーヒルゲート) 開催。

合田 徹郎 / GODA TETSURO

作家。1988年、大阪生まれ。2014年、同絵画専攻日本画修了。山中での写生を通して自身とその土地に集積された歴史との距離をはかる試みをテーマに、考古学への眼差しを感じさせる精緻な筆致による絵画制作を行う。2018年、合田徹郎個展『山中に至りては、質は有にして霊に趣く』(plus1アートギャラリー) 開催。

乃村 拓郎 / NOMURA TAKURO

ディレクション・デザイン等を担当。1986年、大阪生まれ。2013年、同彫刻専攻修了。日本における「美術」以前の造形文化をテーマに彫刻分野での制作活動を行う。2019年、「artKYOTO2019」秋華洞ブース(二条城) 出品。

服部 しまり / HATTORI SHIHORI

作家。1988年、京都生まれ。2013年、同絵画専攻日本画修了。「東洋画の神髄は線である」という言葉の境地を模索し、先人達に迫らんとする筆力をもって人物画を中心に掛軸から襖絵まで幅広く手掛ける。2018年、「天祐禪寺襖絵完成記念 服部しまり展-探母-」(蔵丘河画廊) 開催。

古田 理子 / FURUTA RIKO

アーカイブ・テキスト等を担当。1991年、京都生まれ。2016年、同芸術学専攻修了。修士論文に「京都画壇における青年画家の眼-明治30年代美工卒業作品の面風変遷を中心に-」。

松平 莉奈 / MATSUDAIRA RINA

作家。1989年、兵庫生まれ。2014年、同絵画専攻日本画修了。「他者について想像すること」をテーマに人物画を中心に取り組む。古い絵から想像の飛躍とその限界について考察のヒントを得ながら、構図や画題、形式、発表場所の選択を通して作品制作を行っている。2018年、松平莉奈展「悪報をみる-『日本霊異記』を絵画化する」(KAHO GALLERY) 開催。



〈開催中の企画展情報〉

開校140周年記念「京都府画学校への道」

会場：京都市学校歴史博物館

開館時間：9時から17時(入館は16時半まで)

休館日：毎週水曜日(祝日の場合は翌平日)

入館料：大人300円(240円) 小・中・高生100円(80円)

括弧内は団体料金(20人以上)

*市内の小・中学生は土・日曜日入館無料

 **京都市学校歴史博物館**
Kyoto Municipal Museum of School History

〒600-8044 京都市下京区御幸町通仏光寺下る橘町437
TEL.075-344-1305 FAX.075-344-1327 <http://kyo-gakurehaku.jp>

学校歴史博物館

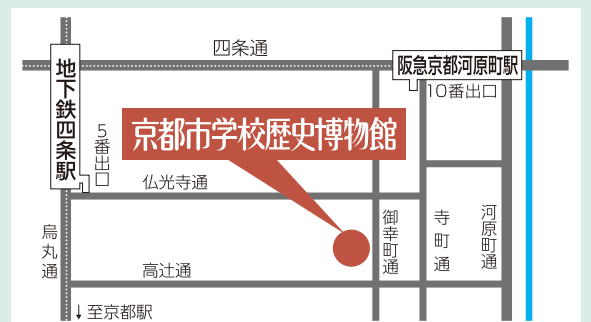
検索



●この印刷物が不要になれば、「雑がみ」として古紙回収へ

※駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。

阪急…京都河原町駅 徒歩約10分 10番出口「藤井大丸口」から南西へ
京阪…祇園四条駅 徒歩約15分 3番出口から南西へ
地下鉄…烏丸線四条駅 徒歩約12分 5番出口から東へ
市バス…四条河原町 徒歩約10分 南西へ
市バス…河原町松原 徒歩約5分 北西へ



※正門(御幸町通側)からお入りください